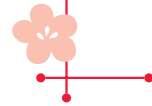




# 新年のごあいさつ

コープながの 理事長  
上田 均



謹んで新年のご挨拶を  
申し上げます。

組合員の皆様におかれましては、日頃よりコープながのをご利用いただきとともに、様々な活動にご理解・ご協力そしてご参加をいただき心より御礼申し上げます。

お蔭様で、昨年の9月21日、コープながのは誕生25周年を迎えることができました。この25年の間には数々の貴重な取り組みと成果がありました。その積み重ねが今日のコープながの「財産」となっています。

昨年もその「財産」をたくさん積み重ねることができたと思います。

8月には「2017子ども平和会議inヒロシマ」(共催：広島県生協連、日本生協連)に、公募で選ばれた2組の親子を代表派遣いたしました。その後の報告会で、彼ら(中学3年生、小学6年生)がヒロシマでどんな体験をし、どんなことを感じたのかを直接お聞きすることができました。戦争体験者の痛みや想いの全てを理解することはできなくても、受けとめようと努力することに意味があり、何かを感じることが、未来に向けて継承していくことに繋がるの

ではないかと改めて思いました。平和であることが私たちの永遠の願いであり、生協が存在する大前提であります。

組合員数は30万人を超え、社会的責任はますます重く大きくなっていきます。そのことを自覚し、組合員・消費者のくらしに貢献する組織として、また、地域社会に信頼され期待される組織として、真摯な姿勢で諸課題に向きあい取り組んで行かねばなりません。

5年前の誕生20周年に際し「この20年、時代の変化は凄まじいが、今日コープながのを語るとき、当時と比較して何の乖

離感もない。『組合員のくらしの役に立つため』という想いがいつも組織の真ん中にあるからだと思う。」というコメントを先輩よりいただきました。この言葉を今一度心に刻み、新しい年においても役員もともに成長できる「誰からも頼られる生協」をめざし励んでまいります。

2018年も  
変わらぬご支援、ご協力を  
賜りますよう、  
お願い申し上げます。

